

令和6年度第6回 感染症発生動向調査協議会
議事概要

1 日 時 令和6年9月18日(水) 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部附属病院 レセプションルーム Oak (岐阜市柳戸1-1)

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志 (岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長)
大西 秀典 (岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学 教授)
澤田 明 (岐阜大学医学部附属病院 眼科 臨床准教授)
石山 俊次 (石山泌尿器科皮膚科)
オブザーバー: 市原 拓 (岐阜市保健所 感染症・医務薬務課 感染症1係長)
事務局 : 丹羽 員代 (感染症対策推進課 管理監)
酢谷 奈津 (感染症対策推進課 感染症対策第二係長)
高柳 瑛余 (感染症対策推進課 主任技師)
伊地田 妙香 (感染症対策推進課 技師)
野池 真奈美 (保健環境研究所 主任専門研究員)
岡 隆史 (保健環境研究所 主任専門研究員)

4 議 題 (進行:馬場委員)

- (1) 前月の感染症発生動向について
- (2) 検討すべき課題について
- (3) 情報提供すべき事項
- (4) 情報提供(月番委員専門分野から)
- (5) その他(感染症対策推進課から)

5 議事概要

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○今冬に向けた感染症流行に対する備えについて

(委員から)

- ・現在、マイコプラズマ肺炎など、飛沫による感染症が多種類流行しており、冬期における感染症流行の様相が数年前とはかなり変わってきていると思います。そうした状況に対応して、適切な受診と診断治療につながるよう、流行状況の提供と予防啓発を効果的に行う必要があると思います。例えば、数年前までは、冬期における流行の警戒はインフルエンザが主でしたが、今後は新型コロナウイルス感染症など、他の呼吸器感染症についての情報等も併せて提供していく必要があると思います。
- ・予防についてはワクチン接種が重要ですが、接種のタイミングなど、判断が難しい場合が多いので、その一助となるよう啓発を行うことが重要と思います。